

2022年度4Q リーダーシップ道場8

水曜3-4限 10:45-12:25

第3回:グループワークと支援型LS (ファシリテーション)

2022.12.21

リベラルアーツ研究教育院 教授

中野民夫

協力：高尾隆先生、TA：柳川総太郎

今日の流れ

agenda

- 10:45 オリエン
- 10:55 グループワーク 1 (30分) 宿題のシェア
- 11:30 ミニ講義②：支援型LS
 - ファシリテーションについて
- 11:55 グループワーク 2 (20分) ミニ講義を受けて
- 12:15 全体で、次回、フィードバックシート
- 12:25 終了

現在履修者25名 6 学院のM1, M2

物理学コース	22M00	大平 明日香	オヒラ アスカ
物理学コース	22M00	黒川 春菜	クロカワ ハルナ
物理学コース	22M08	服部 竜大	ハツリ タツヒロ
化学コース	22M01	山根 奏太郎	ヤマネ ソウタロウ
化学コース	22M08	高野 実咲	タカノ ミサキ
地球惑星科学コース	22M01	山室 良太	ヤマムロ リョウタ
機械コース	22M11	AHMAD ZUHAIR	アマド`ズ`ハイル
機械コース	22M11	HAN JINWOO	ハンジンウ
機械コース	22M18	遠藤 真輝	エンドウ マサキ
システム制御コース	22M18	大嶋 俊之	オオシマ トシユキ
エネルギーコース	22M13	木原 有也都	キハラ アヤト
経営工学コース	21M15	松瀬 雅大	マツセ マサヒロ
経営工学コース	22M15	野瀬 保憲	ノセ ヤスノリ
経営工学コース	22M15	森永 健太郎	モリナガ ケンタロウ
材料コース	21M21	深井 悠太郎	フカイ ユウタロウ
材料コース	22M21	廣岡 孝聡	ヒロカ タクトシ
情報工学コース	22M38	石井 巧希	イシイ コウキ
知能情報コース	22M38	XIE RUNKANG	シャジ`ユンカウ
生命理工学コース	22M40	板垣 優大	イタガキ ユウダ`イ
土木工学コース	20M58	FATIMA HANIF	FATIMA HANIF
土木工学コース	22M51		
地球環境共創コース	21D50:	AI YAOTIAN	ガイギ`ヨウテン
地球環境共創コース	22M52	ZHANG YUXUAN	チョウギ`ヨクケン
地球環境共創コース	22M58	野村 希良々	ノムラ キララ
原子核工学コース	22M58	伊崎 剛義	イザキ ツヨシ
社会・人間科学コース	22M52	大西 将誉	オオニシ マサタカ
情報通信コース	22M14	地道 邦顕	ジ`ミチ`クニタカ

2022年度授業予定

第1回 12/7	1. イントロダクション , (自己紹介, 相互インタビュー) リーダーとリーダーシップの違い
第2回 12/14	自身のリーダーシップ観やリーダー経験を他者と共有する。
第3回 12/21	リーダーシップの多様性を認識、理解し、必要性の是非含め他のメンバーと議論する
第4回 1/11	中間発表準備 (クラスは開講しない) →オプション中野特別授業1: マインドフルネス
第5回 1/18	最終課題方針発表とピアレビュー
第6回 1/25	最終発表準備 (クラスは開講しない) →オプション中野特別授業2: コンパッション
第7回 2/1	最終課題第1稿発表と振り返り →後日、 最終版提出

授業の構成①

- オンライン時代に独自のコンテンツ開発
- リーダーシップに関する知識の習得は、**TED視聴**（基本英語で）（<https://www.ted.com/>）を中心に。情報は山のようにある。
 - TED: Technology Entertainment Design。1984年に米で設立。「Ideas worth spreading」をキーワードにハイテク中心に基本的には学術・エンターテインメント・デザインなど様々な分野の人物がプレゼンテーションを行なう。関連イベント等が世界中で開催されている。
- 最終的にレポート執筆（授業最終回までに第1稿執筆、ブラッシュアップして提出）

授業の構成②

- 各自の過去のリーダーシップ経験を振り返り、他者と複数回共有していきます。学んでいく途中で何度もアップデートの機会を設けつつ、シェアしていきます。
- 最終授業日までに計画的に課題レポートを執筆していきます。
- 授業時間、回数が若干所定の時間より短いのは、オンライン授業の負担感等を考慮。課題（含む動画視聴時間）量で学習時間確保。
 - 文科省の1単位あたり必要学習総時間目安：45時間。
- グループワークでのファイル共有は工夫を。
 - 紙のプリントアウトを見せる、i-padなどデバイスの画面、ファイルのデータを送り合う、Googleドライブなどで共有、などなど

【重要】最終レポートの課題について

- 現代の多様なリーダーシップ観を意識、類型を踏まえ、過去の自身の経験や実践等の事例、データ、資料、文献等を3つ以上具体的に挙げながら、現状や今後の展望等について、議論を論理的に展開せよ。
- 3000字程度。

前回のフィードバックシートから

- グループワークで議論が盛り上がって楽しかった。社会が多様化する中でリーダーシップのあり方が変わってきていることを学んだ。
- 自分のリーダーシップ観と他者のものの相違点を見ると、それぞれのなりたい人間像のようなものが見え、とても興味深く感じた。
- それぞれの見たTEDの話を書くのがすごく面白かった。今日一番印象に残ったものとしては、飴と鞭の考え方は21世紀の現代には合っていない、という言葉でした。
- 自分はインターンに10社ほど参加してきたが、全員を取り仕切るようなリーダーには現時点ではなれないと気づいた。しかし、「実はこの人がいないとまわらない」というサーバント型リーダーシップ(リーダー)にはなれる気がした。
- 私はトップダウン的な昔ながらのリーダーの存在も好きだが、グループワークで他の人のリーダーシップ像を聞いてみるとシェアードリーダーシップやサーバントリーダーシップに近いものがあった
- 宿題でTEDを見たときに、集団を導くにはまず自分を導くこと (Self leadership) が大事、と学んだ。このSelf leadership において大事なこととしては、自分と向き合うこと、自己評価、自己制御が挙げられていた。しかし、このことがいまいち私の中でのリーダーシップ像と上手く繋がっていなかったが、今日の講義やディスカッションを通して少し理解を深めることができた。

リーダーシップ研究の新潮流

『これからのリーダーシップ』（堀尾志保・館野泰一著、JMAM、2020）
131p-169pから抜粋

- 1. LSは公式のリーダーだけのものではない
- 2. シェアド・リーダーシップ
- 3. コレクティブ・ジニアス
- 4. DACフレームワーク
- 5. サーバント・リーダーシップ
- 6. オーセンティック・リーダーシップ
- 7. 非役職者によるインフォーマル・リーダーシップ
- 8. (追加)ファシリテーション

今日までの課題

- まずGoogleフォームにフィードバックシート（一言、発見・気づき・学びを。出席確認を兼ねる）
- 課題①：今日の学びをふまえ、自身の／自身が求める**リーダーシップ観**とはどのようなものか、バージョンアップして簡潔に説明せよ（400字程度）
- 課題②：さらに今日学んだキーワードなどを加えてTEDやネットなどを検索し、任意の動画や記事・論文など**2つのリソース**を選択し、それぞれ要約と論点を作成（400字程度×2）
- 合わせてA4、一枚程度（発表共有しやすいパワーポあるとベター）
 - 次回授業までに、T2 SCHOLA課題提出で提出、持参。
- **次回12/21もグループワーク**

小グループでの対話 1

宿題のシェア 30分

- 4人組に分けます。何かのご縁。お互いに関心を。
 - コミュの秘訣：「今ここであなたのことを理解したい」
- 名前の50音の**逆順**で。50音最後の人ファシリテーター
 - 皆が話しやすい場を調べ、順に指名し、時間管理もよろしく。
- お題：
- **1. 所属・名前、好きなこと（or今年の私のトップニュース）**
 - まずは顔合わせ・自己紹介。各1分ほどでまず一周まわす。
- **2. 自身の／自身が求めるリーダーシップ観ver.2とは**
 - 2巡目で宿題①を各2分ほどで、順に回そう。
- **3. TEDから任意の動画2本を視聴し要約と議論。**
 - 3巡目で宿題②を3分ほど。一つずつ回そう。
 - 時間は30分。（1分×4人+2分×4人+3分×4人で24分）

リーダーシップについて 三二講義 その3

「ファシリテーション」について

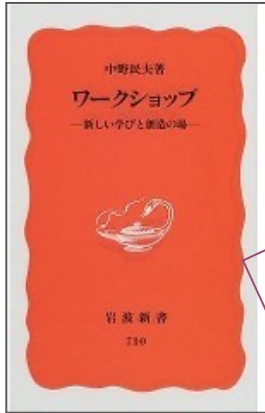
(中野のクラスLS道場8のみの特別版)

<中野なりの新潮流、追加>

8. 「ファシリテーション」も 支援型の新しいリーダーシップ

- “facilitate”
 - 「促進する」「<事を>容易にする」
- **「ファシリテーションとは、人々が集い、何かを学んだり、対話したり、創造しようとする時、その過程を、参加者主体で、円滑かつ効果的に促していく技法」**
(中野2012)
 - ファシリテーターは、そういう参加型の場づくりを促進・支援し進行する人。
- **新たな支援型リーダーシップとして、分野を超えて近年注目。**
 - 特定のファシリテーターはもちろん、誰もが協働・共創の場を支援・促進できる。グループワークで、笑顔で頷きながらよく聴き、良い質問するのも。
 - ある年の日本ファシリテーション協会の大会のテーマ：「一人ひとりがファシリタティブ」
- **教育でも、主体性を育むアクティブ・ラーニングにも不可欠。**
 - 教える→学び合う場を創る役。ファシリテーター型教員が生まれている。

中野の主な著作



18刷!

ワークショップ
新しい学びと創造の場
(岩波新書、2001)



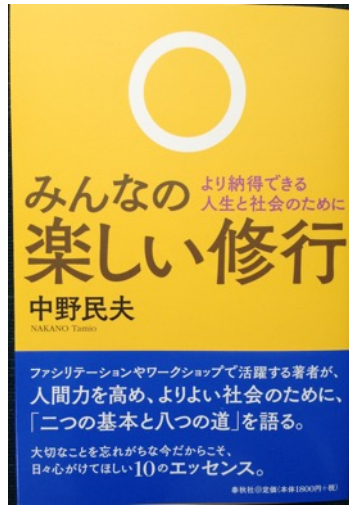
9刷!

ファシリテーション革命
参加型の場づくりの技法
(岩波アクティブ新書、2003)
*現在、電子出版のみ



8刷!

ファシリテーション
実践から学ぶスキルとところ
(共著、岩波書店、2009)



みんなの楽しい修行
より納得できる人生と社会のために
(春秋社、2014)



スピリチュアリティと教育
(共著、ビイング・ネット・プレス、2015)



2刷!

ファシリテーションで大学が変わる
(三田地真実後共編著、ナカニシヤ、2016)



6刷!



2刷!



2刷!

学び合う場の作り方

— 本当の学びへのファシリテーション
(岩波書店2017)

2020年

えんたくん革命

1枚のダンボールがファシリテーションと対話と世界を変える
(川嶋直と共著、みくに出版2018)

進化するマインドフルネス

ウェルビーイングへとつづく道
(飯塚まり編、共著、創元社2018)

看護のための ファシリテーション

看護のための
ファシリテーション
学び合い育ち合う
組織の作り方
(中野民夫・浦山絵里・森雅浩著、医学書院、2020)

3刷!



新・大学で 何を学ぶか

(上田紀行編著、岩波ジュニア新書、2020)
* 東工大リベラル
アーツ研究教育院
の14人の先生たちの
共著

2刷!

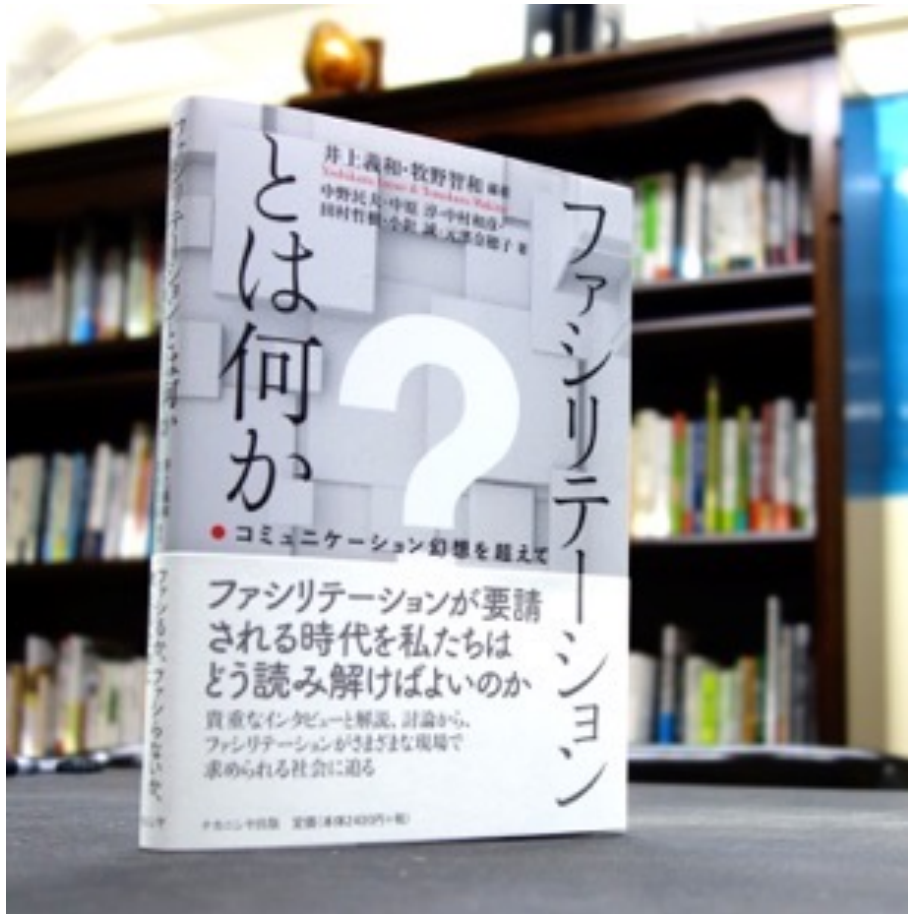


新刊
描いて場を
創るグラ
フィック・レ
コーディング
(有廣悠乃偏重、学芸出版社2021)
* 若手34人の実践者の共著

2刷!

『ファシリテーションとは何か』

(共著、井上義和・牧野智和編著、ナカニシヤ出版、2021.12)



- 新進気鋭の教育社会学者による「ファシリテーションが要請される時代をどう読み解くか？」
- ファシリテーション=支援型リーダーシップの一つ、はこの20年で日本に急速に広がった。
- 中野は2001『ワークショップ』、2003『ファシリテーション革命』を出して牽引したパイオニアとしてインタビューされ、2つの章になった。
 - 01:もう一つの道を求めるなかで
 - 02:さまざまな分野へのファシリテーションの展開
- 今はファシリテーションの大学への活用をチャレンジ中！

中野が大事にしてるLS その1
ファシリテーション
「教える」より「学び合う」場を創ろう

どういうことか、少し事例を。

＜キーワード確認1＞ ワークショップ（WS）とは

- “workshop” :
 - 工房、仕事場、共同作業場。一緒に創る場
- 「講義など一方的な知識伝達のスタイルではなく、参加者が自ら参加・体験して共同で何かを学びあったり創り出したりする、学びと創造のスタイル」（『ワークショップ』中野、岩波新書、2001）
- 「参加」「体験」「相互作用」が鍵

＜キーワード確認2＞ ファシリテーション（F）とは

- “facilitate”
 - 「促進する」「＜事を＞容易にする」
- 「人々が集い、何かを学んだり、対話したり、創造しようとする時、その過程を、参加者主体で、円滑かつ効果的に促していく技法」

(中野2012)

- 簡単な正解のない時代に協働・共創を育む、新しい支援型リーダーシップとして注目
- 主体性を育む学習者主体のアクティブラーニングにも有効

東工大での実践事例

1. 主に対面時

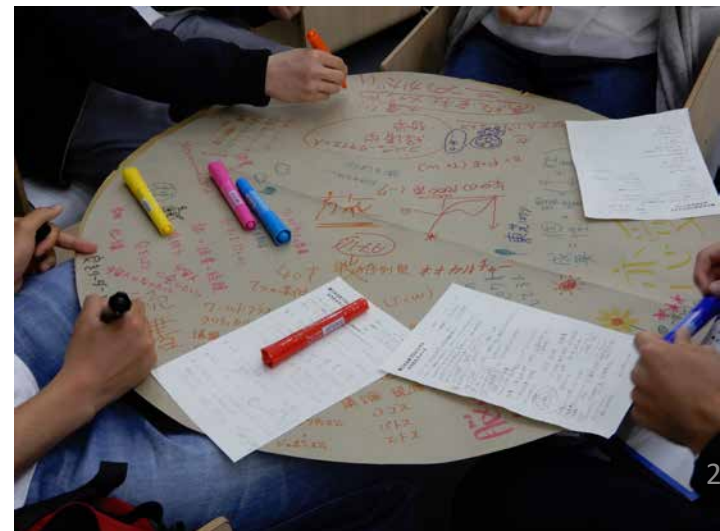
東工大リベラルアーツの旗印 「立志プロジェクト」

- リベラルアーツ研究教育院 (ILA) :
社会性・人間性・創造性を育み、大きな志を!
- 入学早々の1Q (週2)、新入生6学院全
1,100人の必修授業
- 大教室講義⇔少人数クラス
 - 今はオンデマンドとzoomライブ
- 木：池上彰先生ら多彩な6人の講義
 - 科学技術倫理、水俣、メディア、NPO、宗
教・哲学、演劇
- 月：28人×40組の少人数クラス
 - 講義をふりかえり、対話で深めあう場
 - この基本進行案・FDに貢献
- 最後に「私の志」プレゼン
 - 途中に、書評セッション等



28人の少人数クラスで 4人組で対話し、学び合う

- **開会、チェックイン**
 - 全員が一言話す。参加感↑、相互理解↑
- **対話1**：4人でふりかえりノート（1. サマリー）を回し読み、話し合う。
 - 「えんたくん」（段ボールの円卓）を囲み、キーワードを「見える化」しながら
- **対話2**：組替えし、2.レスポンス（何を感じ考えたか）について対話
 - 今は、zoomブレイクアウトルームで
- 同じ話を聞いても様々な受け止め方
 - 「へえ〜」と、自分とは違う多様な他者から学び合う。
- **チェックアウト**（振り返って一言）

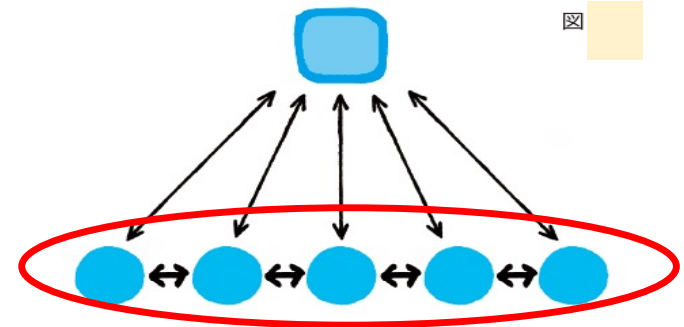


教員は学び合いの場をサポート

「教える」より「学び合う」場を！

- 参加型の場づくりの技法、ファシリテーションを活用
 - 「教える」のではなく、**引き出し、協働・共創を促し支援**
 - 自分で発見し自分で身につけたものが一番身につく。
- 教員同士もえんたくんを使って実際にやりながら、FD研修や毎回のふりかえり会。
- 稀有な協働で教員組織の「同僚性」(collegiality)も高まる。

小グループ対話（横の双方向を!）



典型的な大教室。コミュニケーション論の教室。机、椅子は固定。どうする？



160人でも工夫してクジで席を決めて4人組を作り、対話ある参加型授業を実践。



話しやすい場を求めて学内をうろろろ 百年記念館 1Fホールで小グループ対話



2019年度、アクティブ・ラーニング対応型の平場教室ができ、170人でも対話



伝説の「えんたくん」

円形段ボールのシンプルな対話促進ツール



「参加型授業」の意義

学生を集約すると

楽しい！

世界が広がる。

コミュニケーション力
が身につく。

自ら何かやりたくなる。
(主体性が育まれる)

留意してること：「対話」と「議論」は違う
やりたい話し合いは議論ではなく**創造的な対話**！

- **「会話」** (conversation)
 - 特定の目的や結論のない、おしゃべり、雑談。
 - 社交や情報を得る上で重要。オンライン時代に注目
- **「議論」** (discussion)
 - 元々は、どちらの意見が正しいか、**正解**を競う傾向。
 - **勝ち負け**がある（典型例はディベート）。**結論**が求めらがち。
- **「対話」** (dialogue)
 - 特定のテーマについて、きちんと向かい合って話し合うこと。二人には限らない。
 - **勝ち負けはなく、新たな発見や創造につながる営み。**
 - 自分の意見に固執せず「**想定**の**保留**」が重要！（D.ボーム）
 - →**マインドフルネス**（今ここありのままへの気づき）が必要！
 - 自分の枠、認知バイパスに気づき、成長、寛容・思いやりへ。

全学への展開

第10回

蔵前立志セミナー

志をカタチにした先輩と語り合おう

“リアルタイム・ダイナミック・リモート”

志

“人間の本質的欲求”

東工大生

OB / OG

講演
&
小グループでの対話
&
懇親会

“強い意志”

“SDGs”

価値創造一

人間の本質的欲求の追求とICTの役割



講師

遠藤 信博 氏(S51電子 S53修 S56博)

日本電気株式会社 代表取締役 会長

人間は「価値創造」という活動を通して、社会で活かされることで初めて生きることが出来る。その価値創造の根本にあるのは、人間の本質的欲求の理解である。爆発的な人口の増大が、深刻な資源の逼迫をもたらす時代を前に、AIに代表されるICTが飛躍的な進歩を遂げて、社会を大きく変えようとしている。各分野で優れた技術能力を有する東工大生の皆さんと、私自身の経験も交えながら、これからの価値創造のあり方と心構えについて考えてみたい。

日時:

7月9日(火)

17:00~20:30

内容 : 講演会(17時~18時45分) 於 東工大蔵前会館1階くらまえホール

17時~ 講師による講演

18時~ 小グループでの対話(学生と卒業生との対話) ※対話開始以降の入室不可

懇親会(18時50分~20時30分) 於 同 ロイヤルブルーホール

* 飲物・おつまみの用意がございます

対象者 : 東工大在大学生・卒業生・教職員・ならびに関係者

参加費 : 1,000円(懇親会費を含みます)、**東工大生無料**

申込み : 下記サイトまたは右下のQRコードからご登録下さい。

<https://www.kuramae.ne.jp/kuramaerisshi/>

問合せ : 蔵前工業会東京支部事務局

E-Mail : kuramae-tokyo@deluxe.ocn.ne.jp

電話 : 03-3748-4447 (平日午後のみ)

申込み締め切り

7月8日(月)

QRコード
はこちら!



主催 : 蔵前工業会東京支部・東工大リベラルアーツ研究教育院 共催 : 蔵前工業会・東京工業大学

発行 : 蔵前工業会学生分科会広報班

東工大は元々、蔵前にあった、という話、知っていますか?

OB/OG組織を「蔵前工業会」といいます。

日本全国や世界各地で、先輩方が活躍してきています。皆さんもそのコミュニティの一員ですよ。

NEC会長など、多様な先輩が来て、話をしてくれるセミナー(+懇親会)が年4回。ILAとの共催。

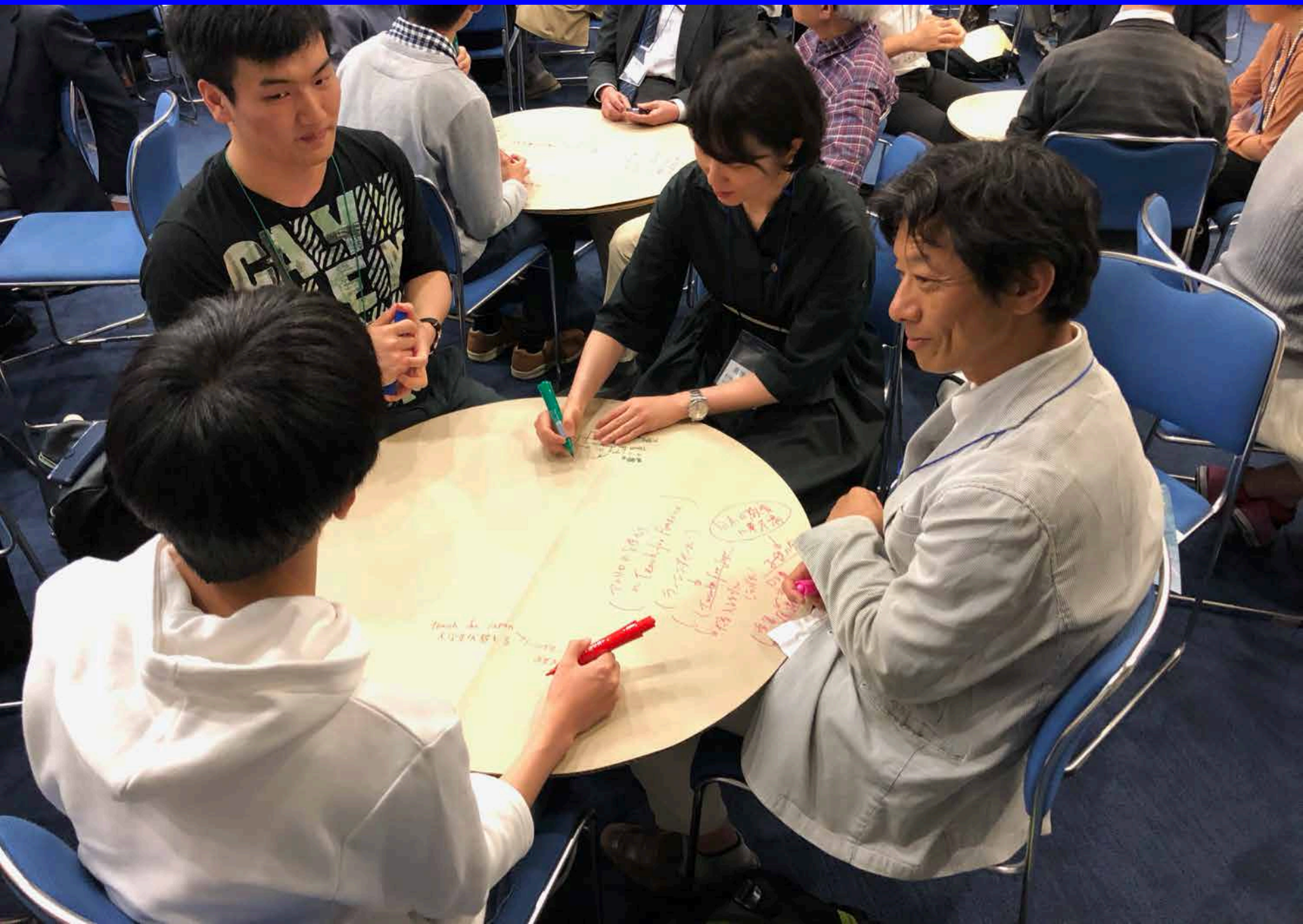
教養を広げ、キャリアについて考え、多様な人々と対話するチャンスです。

当面オンライン、ぜひ参加を!

社会人と学生が混じり合うよう綿密に席を準備し、講演後にえんたくん対話



異年齢の学生、教員、職員、OB/OGが混じり合う。懇親会も真の交流に



「東工大ステートメント」

私たちは何者であるのか？

<https://www.titech.ac.jp/tokyotech2030/>

ちがう未来を、
見つめていく。

まだ、見たことのないこと
まだ、触れたことのないこと
まだ、信じられていないこと
まだ、想像さえできないこと

だから、何万回という
失敗を繰り返して
闇の中を一人で進み続け
たったひとつの答えを
探し続けることができる
同じ夢を見る人と、
国境も領域も超えて
つながり共に動き続ける
ことができる

この世界にまだ、
ないものを見つけ、
創りだせた喜びそして、
世界の人々の幸せに
つなげていく喜び
私たちは、その喜びを
手にできる入り口にいる

ここには、そんな思いを持つ人たちがいる
予定調和の結論はいらない
前例のあることに興味はない
風変わりなヤツだと言われてもかまわない

何故なら、私たちには私たちにしか見えない
未来があるのだから
東京工業大学

SCROLL DOWN

いいね! 95

シェア

ツイート

「東工大2030年ビジョン」を探る学長等執行部のワークショップ(2016)から始まった



The background features a collage of images showing students in various settings, such as working at computers or in a library. Overlaid on this are several black silhouettes of birds in flight, scattered across the page. The text is overlaid on a large, multi-colored geometric shape that resembles a stylized arrow or a large 'V' shape, with segments in green, blue, red, and grey.

学生/教員/職員/卒業生全員集合！

東工大の未来を

語り合う

大ワークショップ

～2030年に向けた東京工業大学のステートメント
「ちがう未来を、見つめていく」をもとに～

2017年11月22日（水）14:00～17:30 + α

学生・教員・職員・OB全員集合！東工大の未来を語り合う大ワークショップへ！



東工大HPニュースに大きく掲載。対話をもとに共創・協働へ

後半に「大ワークショップの紹介動画」 <https://www.youtube.com/watch?v=BnGWwU9RQUl>

[トップページ](#) > [東工大ニュース](#) > [学生、教職員、執行部、卒業生200名を集め「東工大の未来を語り合う大ワークショップ」を開催](#)

東工大ニュース

カテゴリ別

教育

研究

社会連携

国際交流

受賞・表彰

学生の活躍

開催報告

来訪者

メディア

大学からのお知らせ

プレスリリース

月別

2017年

2016年

2015年

2014年

2013年

2012年

2011年

学生、教職員、執行部、卒業生200名を集め「東工大の未来を語り合う大ワークショップ」を開催

いいね! 141

ツイート

開催報告

RSS

2017.12.19

11月22日、東工大を支える各構成員のうち総勢207名（学生60名、教員53名、職員66名、執行部・卒業生28名）が大岡山キャンパス生協第一食堂2階コミュニケーション・ラウンジに集まり、「学生・教員・職員・卒業生全員集合！東工大の未来を語り合う大ワークショップ～2030年に向けた東京工業大学のステートメント『ちがう未来を、見つめていく。』をもとに～」が開催されました。本学でも最大規模となった本ワークショップでは、多様な学内関係者が1つの卓を囲み、東工大の一員として「対等」な立場で参加することを合言葉に、東工大の現在とこれからについて熱く語り合い、大いに盛り上がりました。





DLab

Laboratory for Design of
Social Innovation in Global Networks



Follow Us  

Language Ja 



社会とともに「ちがう未来」を描く

未来社会DESIGN機構

東工大未来社会デザイン機構(DLab) キックオフワークショップ(2018.10.28)

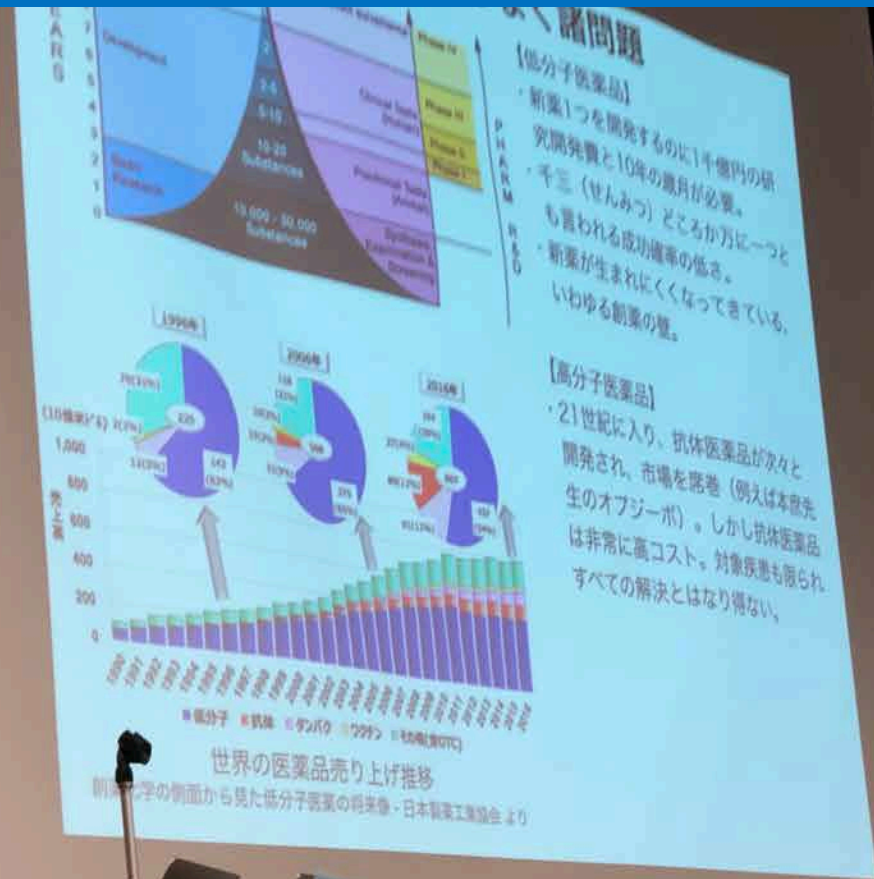
東京工業大学 未来社会DESIGN機構 キック

未来社会を考えるワークショップ2018テーマ

「未来社会」を「考える」

10月28日(日) 13:00 スタート ※受付12:30~13:00
岡山キャンパス蔵前会館くらまえホール





終盤、2人組で「創りたい未来像」について分かち合う。益学長と付属高校の高校生。



ある参加者のボーダーを超えて創りたい未来像。都市と田舎、農と工と自然をまぜる。

名前: _____
 高校生 / 大学生 / 専門学校生 / 社会人 / その他

都市と田舎と農と工と
 自然を「まぜる」。

創業

その先にはどんな景色が見える?

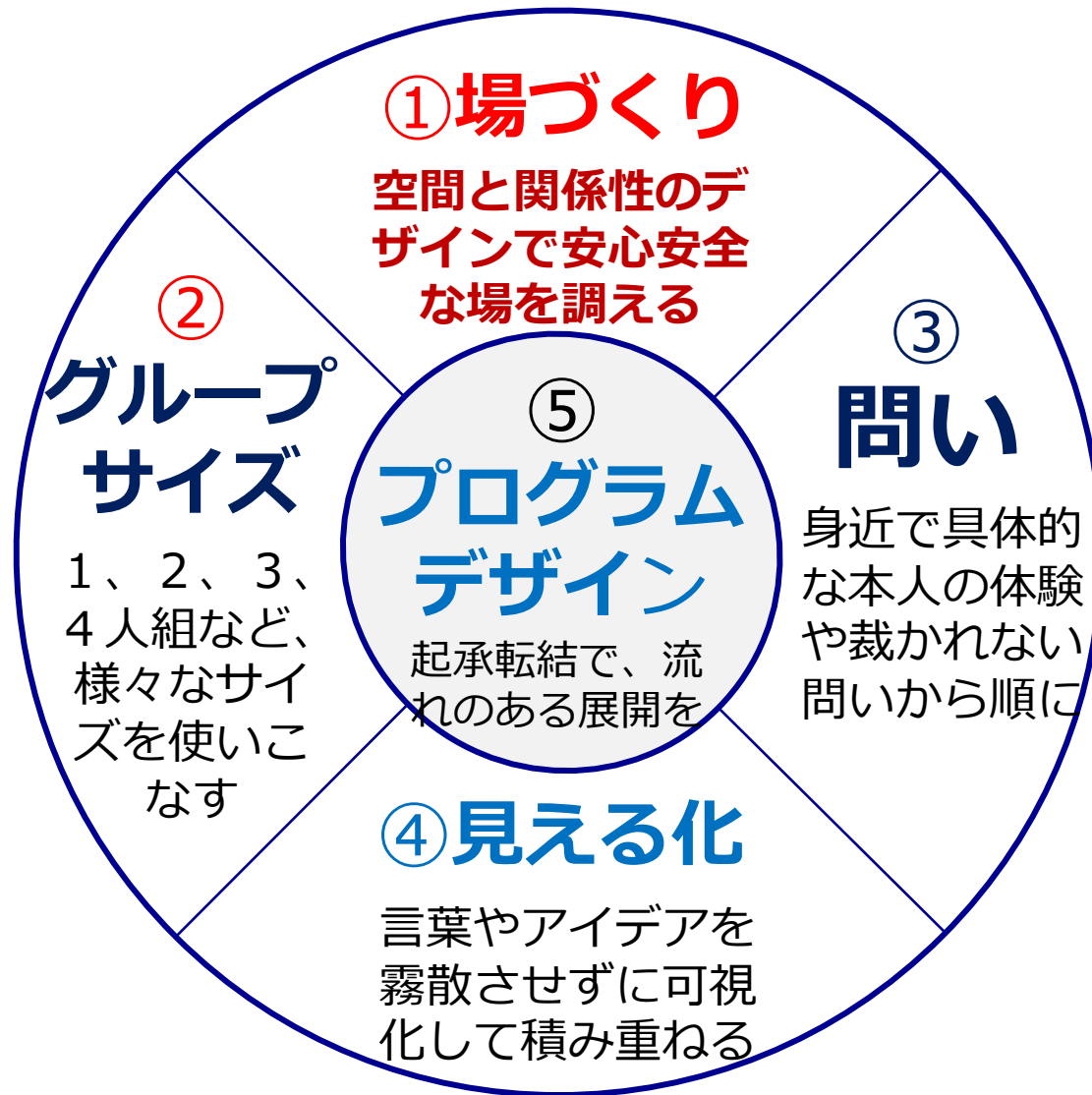
「ボーダー」を、超えよう。

都市・田舎 脳・身体

現在の課題 都市と

学び合う場をつくる ファシリテーション基礎スキル

『学びあう場のつくり方』（中野民夫、岩波書店）より



小グループでの対話 2

ミニ講義を聞いて

- グループ変えます。何かのご縁。お互いに関心を。
 - せっかくなので、より多くの人との対話を。
 - 誕生月の早い順にファシリテーター
 - まずは顔合わせから
 - **1. 所属・名前、好きなこと (or今年のトップニュース)**
 - 次に
 - **2. 「ファシリテーション」 (支援型リーダーシップ) で印象に残ったこと**
- 時間は20分。 (各1分×4人 + 3分×4 + 自由に)

12/21から2023年1月18日 までの課題

- 1月11日：オプション（マインドフルネス） 中間発表準備（公式にはクラスはなし）
- 1月18日：最終課題方針発表とピアレビュー
- ~~宿題0：出席課題：振り返りと所感（400字程度） Googleフォーム~~
- **宿題1：LS探究：さらに今日までの学び、気になったことを手がかりに、TEDなどネットや書籍・論文などから任意の2点を選択し、それぞれ要約と論点を作成（最終レポートに活かすため）**
 - 400字程度×2、1と合計A4、1枚程度（パワーポ数枚でも良い）
 - 次回までに提出、シェアしやすい形で持参し画面共有
- **宿題2：最終課題の方針作成**
 - 最終レポートでまとめたいこと、大まかな構成
 - パワーポイント4-5枚か、ワード等A4一枚程度
 - 次回発表しやすい形で持ち寄って発表し、**ピアレビュー**（もっとよくするためのフィードバック）しあう。*この時点では提出不要

補足：第4回、第6回オプション授業の内容
「自分の世話をできないと、
他者の世話はできない」

- **マインドフルネス**→実修practiceします。一生の宝に。
 - 今ここのありのままに気づくこと。No judgementで
 - 元々仏教瞑想の伝統。sati：気づき。漢字で「念」
 - テイク・ナット・ハンやJ.カバットジンが普及
 - Googleがマインドフルネス・リーダーシップ研修
 - ビジネス界がブレイク。医療や各方面に展開中。
- **コンパッション**
 - 思いやり、慈悲？
 - 他者の痛みを共有し、なんとかしたいと強く思う気持ち。
 - Joan HalifaxのGRACEプログラムが医療関係者に展開
 - マインドフルネス・セルフ・コンパッションも
 - 人間らしいリーダーシップに欠かせないポイントかな。

2022年度授業予定

第1回 12/7	1. イントロダクション , (自己紹介, 相互インタビュー) リーダーとリーダーシップの違い
第2回 12/14	自身のリーダーシップ観やリーダー経験を他者と共有する。
第3回 12/21	リーダーシップの多様性を認識、理解し、必要性の是非含め他のメンバーと議論する
第4回 1/11	中間発表準備 (クラスは開講しない) →オプション中野特別授業1: マインドフルネス
第5回 1/18	最終課題方針発表とピアレビュー
第6回 1/25	最終発表準備 (クラスは開講しない) →オプション中野特別授業2: コンパッション
第7回 2/1	最終課題第1稿発表と振り返り →後日、最終版提出

生きてるうちに

2017年2月15日
地球市民村仲間の計報に接して
作詞・作曲：中野民夫

1)
C G Am
生きてるうちに 精一杯 がんばろう
Em
F C
がんばり尽くせばひとつに溶けて楽になれるから
Dm7 G7
生きてるうちに 精一杯 楽しもう
きつといつか そのうちにでなく 今ここで
生きてるうちに 精一杯 歩こうよ
小さな一歩 積み重ねれば 遠くまで行ける
生きてるうちに 精一杯 学ぼうよ
知れば知るほど 奥が深いよ この世界
*
Am Em
F Am Em
たとえば明日旅立とうと たとえ世界滅びようと
F G
F G C
わたしだけに できる 一人分の仕事 やろう

2)
生きてるうちに 精一杯 笑おうよ
おなか抱えて 笑いに笑って 涙が出るまで
生きてるうちに 精一杯 泣きましょう
涙がなければ たましいに虹は 見えないから
生きてるうちに 精一杯 怒ろうよ
身近な人やささいなことより 社会の不正義に
生きてるうちに 精一杯 愛そうよ
愛だの恋だの恥ずかしいけど みんな大好きさ
*
たとえ明日旅立とうと たとえ世界滅びようと
わたしだけに できる 一人分の仕事 やろう
**
生きてるうちに 精一杯 歌おうよ
みんなで一緒に 謳い踊れば ラーラーラー
ラー
(ラララでもう1回~数回)

最後にフィードバックシート

- 今日の気づき・発見、学びは？
- 少し振り返って、何がどう学びになったのか、丁寧に記述してみてください。
- https://docs.google.com/forms/d/1XvYkX7KrhIfSlaJTCuZHPMcI_h2sUcMdoYbpCTxI00M/edit
- <注意！>
 - 万一、授業にフル参加してなかったのに、このシートを書いて提出するのは不正行為。
 - 東工大ルールで当Qの全ての授業の単位が取り消されますので注意。

